教育心理学

開講日　・12/20　18:00～21:00 第一回

　　・12/27　18:00～21:00 第二回

講師：三浦志織

心理学ってなに？

- 人の心がわかる？
- 心理テスト？
- 占い？

心理学ってなに？

心理学＝行動の科学

教育心理学とは

＜目的＞

科学的に証明された方法を用いて，効果的に教育を進めていくこと

今回学ぶ教育心理学

＜第3章　子どもの遊び＞

- 古典的条件づけ　pp.44

＜第4章　学ぶ意欲＞

- 動機づけ　pp.67
- 内発的動機づけと外発的動機づけ　pp75
- 学習性無力感　pp.73
- 自己効力感　pp.78

＜第1章　教育心理学とは＞

- 教育心理学の研究方法　pp.6

設問（１） 試験問題

（１）古典的条件付けについて

ア.代表的人物を一名回答してください。

イ.定義を説明してください。

＜第3章　子どもの遊び＞
古典的条件づけ（レスポデント条件付け）

古典的条件付け①

- 生理学者　パブロフ

なぜ足音だけで
よだれを垂らす？

この音は…餌がもらえる！

古典的条件付け②

古典的条件付けとは

「誰もが必ず持っている生理的反射（餌で唾液を出す）をつかって，本来誰も持っていない反射（音で唾液を出す＝条件反射）を作り上げる。」

古典的条件付け③ ～応用編～

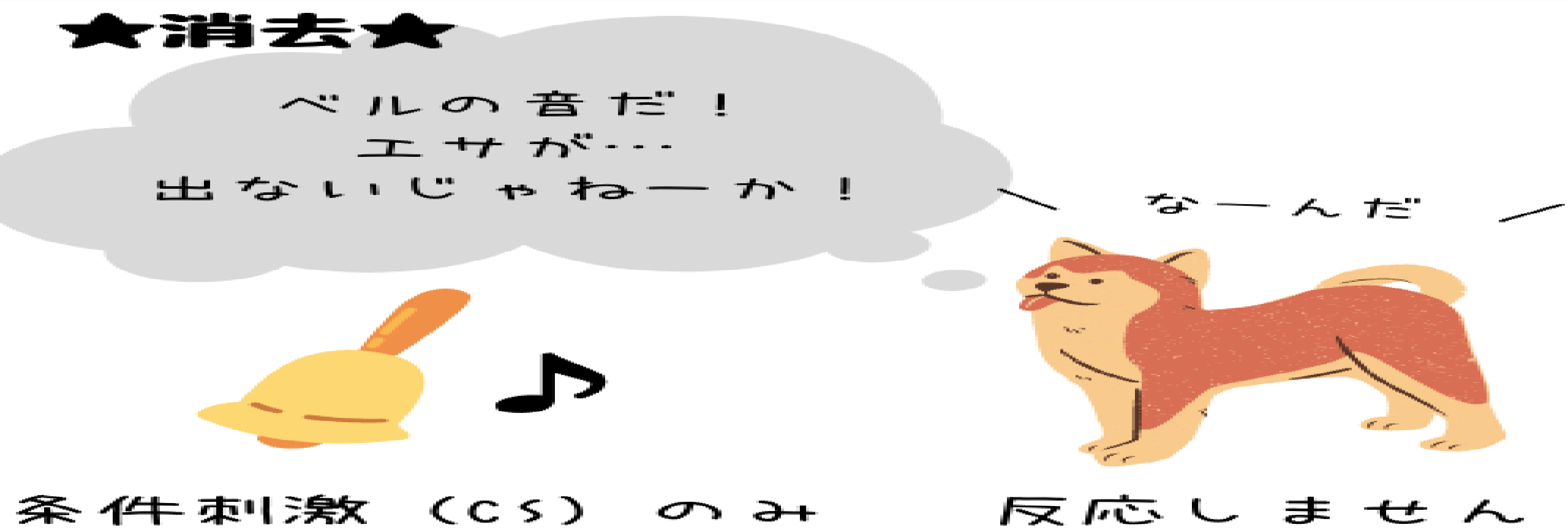
古典的条件付け④ ～応用編～

パブロフの犬🐶　⇨　メトロノームで唾液

アルバート坊や👦　⇨ 白ウサギでなく

虫🐛　⇨ 恐怖反応（避ける，叫ぶ，恐怖を感じる）

古典的条件付け⑤ ～応用編～



古典的条件付け⑥ ～応用編～

設問（１） 試験問題

（１）古典的条件付けについて

ア.代表的人物を一名回答してください。

→パブロフ（**1849-1936**年）

イ.定義を説明してください。

→誰もが必ず持っている生理的反射（餌で唾液を出す）をつかって，本来誰も持っていない反射（音で唾液を出す＝条件反射）を作り上げる。

＜第4章　学ぶ意欲＞
動機づけ

動機とはそもそも何？

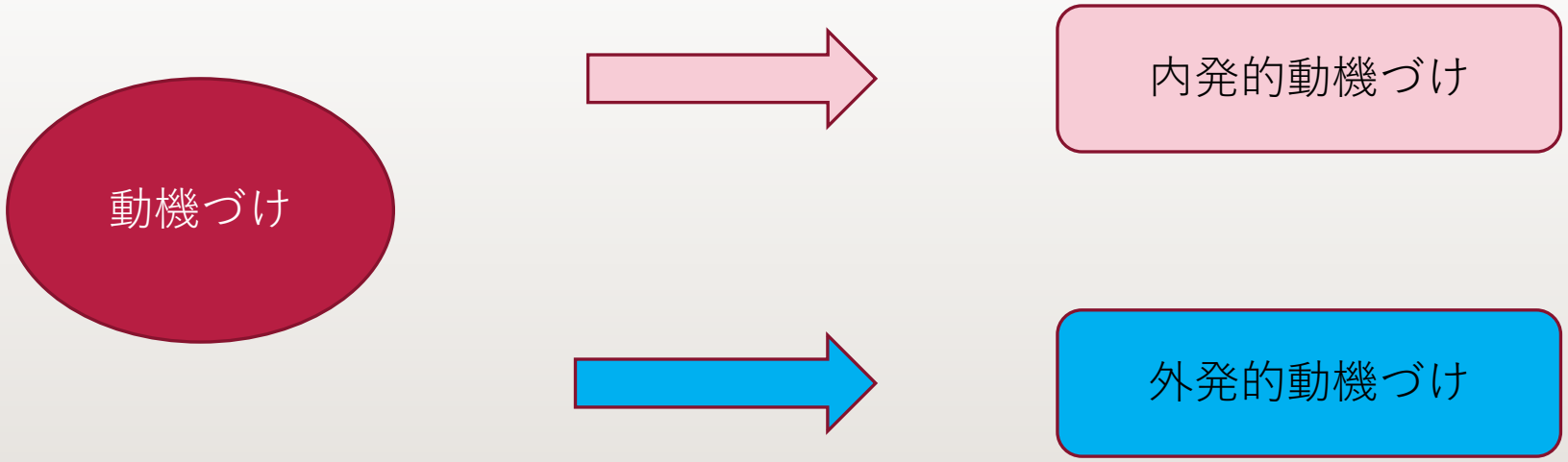
⇨人が何らかの行動を起こそうとする心の働き。

動機づけ①

動機づけとは

「行動を生じさせ，その行動を維持し，何らかの目標に方向付けを行う一連の心理過程」

動機づけ②



設問（３） 試験問題

（３）内発的動機づけについて

ア.定義を説明してください。

イ.この知識を教育・保育場面で活用する方法について述べてください。

ウ.教育・保育現場で生かされる具体例を提示し，具体例を使用しながら活用する方法を説明してください。

内発的動機づけ

内発的動機づけとは

「報酬や要請のために活動しているのではなく，活動そのものに対する興味や関心に基づき，活動そのものが楽しくて活動している状態」

内発的動機づけ②

お絵描き楽しい

像ってこうかな，図鑑をみてみよう！

車大好き，車の種類をたくさん言えるよ！

外発的動機づけ

外発的動機づけとは

「外からの報酬や要請によって行動が生じている状態」

外発的動機づけ②

お金が欲しい！！
頑張って働くぞ

先生に沢山褒められたいからお手伝いしよう。

内発的動機づけと外発的動機づけ

- 皆さんの行動は内発的動機づけ？外発的動機づけ？

①内発的動機づけ

②外発的動機づけ

動機づけ③

沢山絵を描いた子にはシールと賞状を挙げるね！

結果的に

ご褒美もらえないならお絵描きしない。

動機づけ④

アンダーマイニング効果の特徴

・内発的動機づけに基づいた行動が外発的動機づけに基づいた行動へ変化する。
・目的が報酬に変わってしまう。
・モチベーションの低下に繋がることも。

動機づけ⑤

エンハンシング効果（賞賛効果）の特徴

・外発的動機づけに基づいた行動が内発的動機づけに基づいた行動へ変化する

・目的が報酬から活動自体に変化する。

・モチベーションの向上に繋がることも。

動機づけ⑥

- グループ１　→　「本当に頭がいいんだね」
- グループ２　→　「努力の甲斐があったね」
- グループ３　→　コメントなし

課題１：難関度は高いがやりがいがある課題

課題２：簡単に解け，学びの少ない課題

動機づけ⑦

- グループ１　→　「本当に頭がいいんだね」

  →約６５％が「簡単な課題」を選択
- グループ３　→　コメントなし

  →約４５％が「簡単な課題」を選択
- グループ２　→　「努力の甲斐があったね」

  →約１０％が「簡単な課題」を選択

→ 残りの９０％以上の子供が「難しい課題」を選択

人を褒めるときは「努力」や「過程」をほめるのが効果的

設問（３） 試験問題　例

（３）内発的動機づけについて

ア.定義を説明してください。

→「報酬や要請のために活動しているのではなく，活動そのものに対する興味や関心に基づき，活動そのものが楽しくて活動している状態」

設問（３） 試験問題　例

（３）内発的動機づけについて

イ．この知識を教育・保育場面で活用する方法について述べてください。

　→子供の興味や関心に基づいて，教育場面であれば授業を構成したり，保育場面においては日々の活動へ取り入れることによって，自発的な学習の機会を生み出すことに繋がる。

（ex. 手紙を書くために，文字に興味を持ち始めた子に対し，ひらがなを教える）

設問（３） 試験問題　例

（３）内発的動機づけについて

ウ. 教育・保育現場で生かされる具体例を提示し，具体例を使用しながら活用する方法を説明してください。

教育場面→子供達の間で流行っている図書を題材として，歴史を学んだり，国語の授業に取り入れ，作中に出てくる言葉の意味を教えるなど。

保育場面→お店やさんごっこやおままごとが流行ったクラスで，活動として普段の遊びで使用できる紙幣の工作を取り入れ，お金を学ぶ機会をつくるなど。

設問① レポート課題

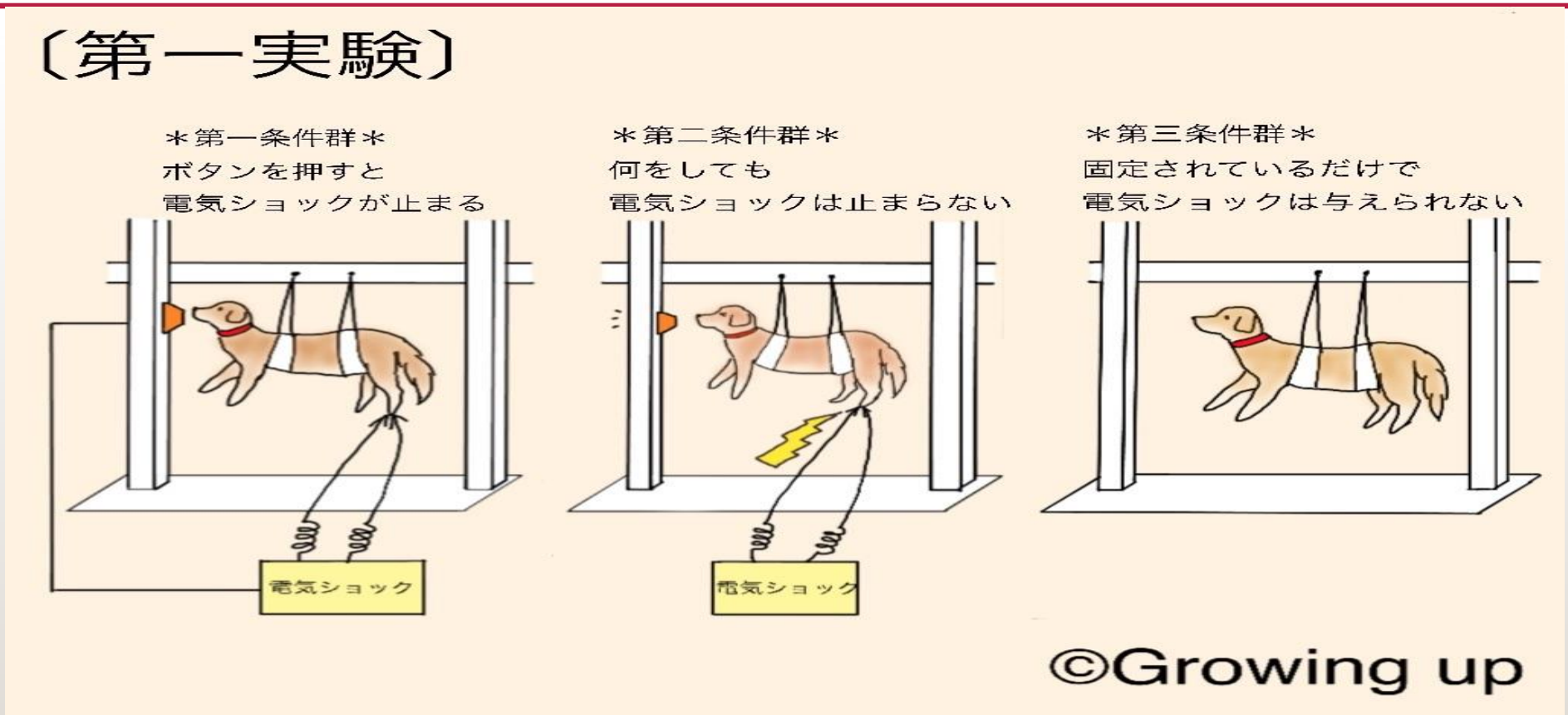
- 「動機づけ」を説明した上で，「学習性無力感」と「自己効力感」を説明してください。またこれらの知識を保育・教育場面でどのように活用していくかについて自分の考えで説明してください。

学習性無力感①

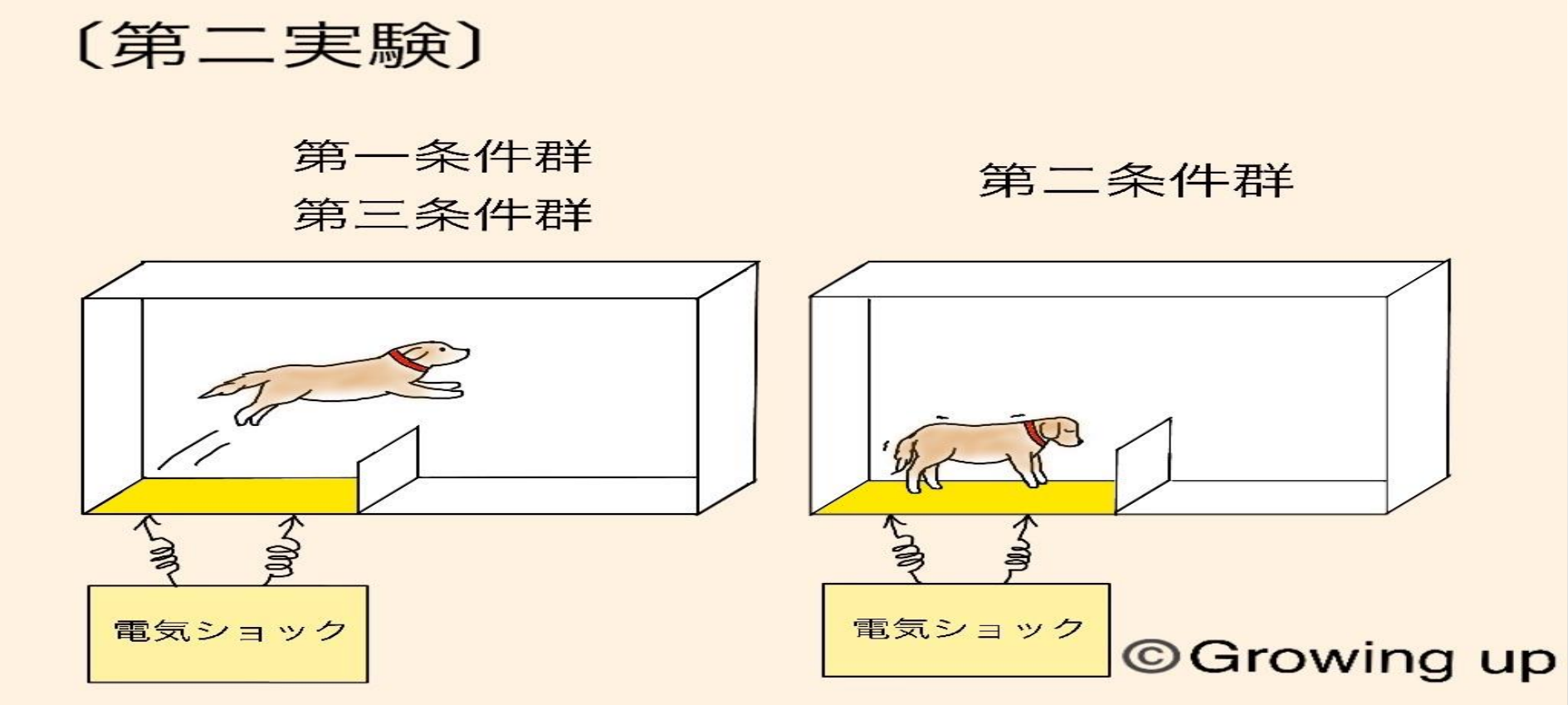
学習性無力感

ストレスを回避できない状況に長時間おかれると，回避という行動を起こさなくなる。すなわち経験によって「出来ない」ことを学習し，無気力になってしまう状態。

学習性無力感②


〔第一実験〕
＊第一条件群＊
ボタンを押すと
電気ショックが止まる
電気ショック
＊第二条件群＊
何をしても
電気ショックは止まらない
電気ショック
＊第三条件群＊
固定されているだけで
電気ショックは与えられない
©Growing up

学習性無力感③



自己効力感①

自己効力感

行動すれば目標を達成できるという能力を自分が持っていると認識すること，すなわち「自分ならできる」と思えること

自己効力感③

結果期待
（どうすれば上手くいくか）

＋

効力期待
（自分ならできる自信）

＝

自己効力感

自己効力感③

自己効力感④

自己肯定感を高めるために....

①達成できたという成功経験をさせる（遂行行動の達成）

高所恐怖症の例

No	場面(課題)	SUD
1	スカイツリーの展望台へ行く	100
2	お台場の観覧車に乗る	90
3	高層ビルの40階から外を見る	80
4	高層ビルの20階から外を見る	70
5	デパートの外が見えるエレベータに乗る	60
6	マンションの9階から外を見る	50
7	つり橋を歩いている映像を見る	40
8	高い場所をイメージする	30
9	歩道橋の上から下を見る	20
10	マンションの3階から外を見る	10

不安に思うこと	得点
会議で発表する	100
人前で自己紹介する	80
会議に参加する	55
人前で歌う	40
集団の和に入って話をする	30
知らない人と会話する	25
知っている人数人と話をする	25
知らない人と挨拶する	10
外出する	1

自己効力感⑤

自己肯定感を高めるために....

②他者の成功の様子の観察（代理的経験）

自己効力感　番外編

アルバート・バンデューラ　**1961**年**-1963**年「ボボ人形実験」

→子供達を３つのグループに分ける。

グループA

ボボ人形に対して，大人たちが攻撃的な行動をとっている映像を見せられた。その映像の中では，大人がボボ人形を叩いたり，蹴ったり，罵声を浴びせている様子が録音されている。

自己効力感　番外編

グループB

ボボ人形に対して，大人たちが攻撃的な様子を一切見せない映像が見せられる。

大人たちはこの映像の中では他のおもちゃで遊んだり，静かに過ごしていました。

自己効力感　番外編

グループC

子供達には何の映像も見せない。

→子供達それぞれボボ人形を含めたおもちゃがたくさんある部屋に入れ観察。

自己効力感　番外編

→グループAの子供たちは攻撃的な行動が増加

自己効力感⑥

自己効力感を高めるために....

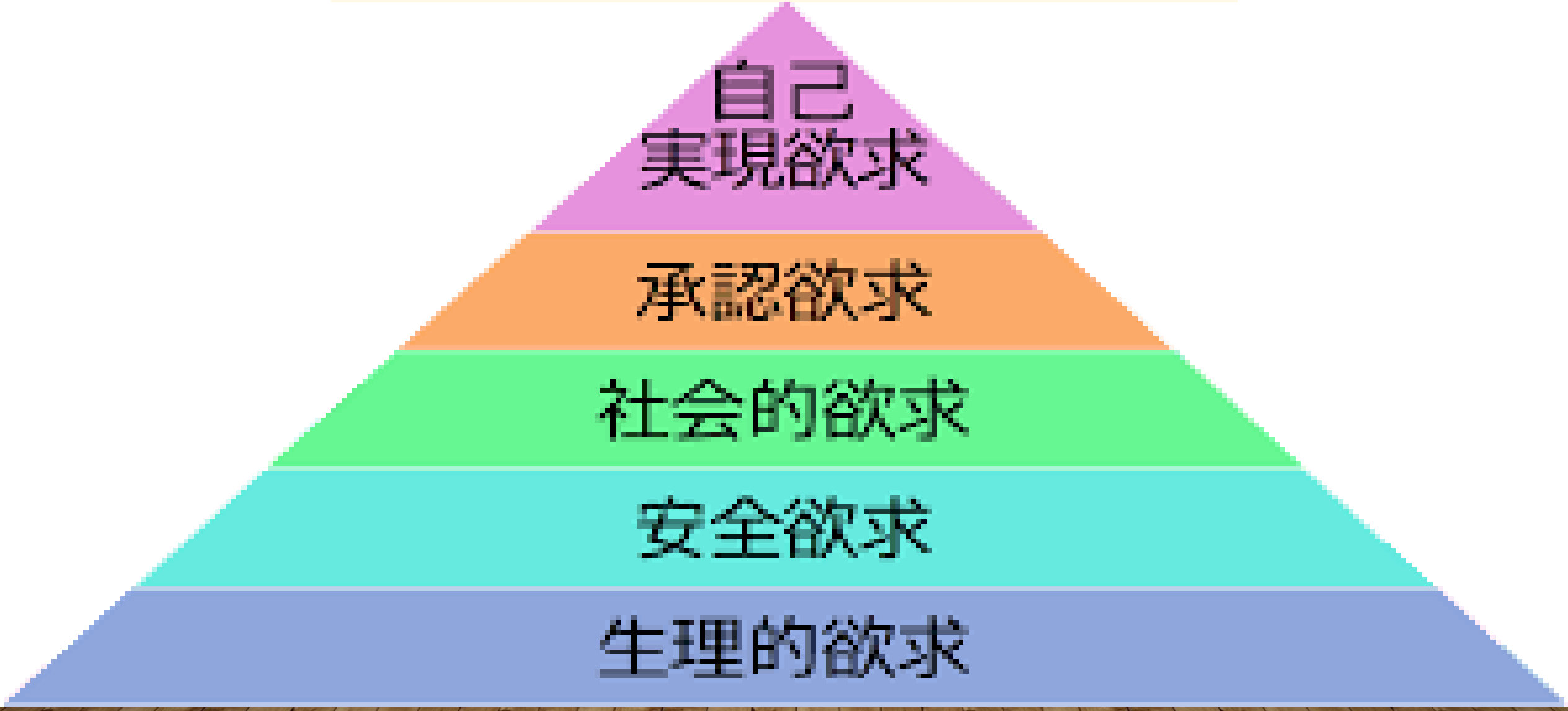
③能力があることを励ます　（言語的説得）

自己効力感⑦

自己効力感を高めるために....

④安心し，くつろいだ状態で遂行させる（生理的状態）

マズローの欲求5段階説



自己効力感⑧

①達成できたという成功経験をさせる　（遂行行動の達成）

②他者の成功の様子の観察（代理的経験）

③能力があることを励ます　（言語的説得）

④安心し，くつろいだ状態で遂行させる（生理的状態）

学習性無力感④　～事例１～

- にこにこ保育園では12月のクリスマス発表会へ向けてお遊戯練習の真っ最中。先生も子供達も張り切ってダンスの練習をしています。年長のAちゃんもクラスのみんなと一緒にダンスの練習を10月から重ねていますが，一向に振り付けを覚えることができません。みんなと一緒に踊ると，Aちゃんだけが周りから遅れているのが目立ちます。Aちゃんもだんだんと自信を失ってきているのか，できている振り付けも心なしか小さく踊るようになっていました。

さて，みなさんが保育者だったらどのような声がけをしますか？

学習性無力感に陥ってしまう行動と，自己肯定感を高める行動を考えてみましょう。

学習性無力感⑤　～事例２～

- にこにこ保育園に今年の秋から新しく入ってきた引っ込み思案のBくん。もうすぐ今年が終わるにも関わらず，なかなかクラスに馴染めません。Bくんなりにクラスの子へ頑張って声をかけている様子も度々みられますが上手くいかないようです。最近では登園時にお母さんから離れようとせず，お母さんも困り気味，Bくんも元気がなさそうです。

さて，みなさんが保育者だったらどのような声がけをしますか？

学習性無力感に陥ってしまう行動と，自己肯定感を高める行動を考えてみましょう。

学習性無力感⑥　～事例３～

- 小学校５年生の志織さんは算数がとっても苦手。今日の分数の授業も，みんなが黒板に順調に式を書き込み正解する中，一人だけ黒板を前に身体が固まってしまっています。授業終了の時間が迫ってきたため，担当教科の先生は「なんでもいいからと答えを書いて」と促しますが，結局答えを書き込むことができず，とぼとぼと自分の席に戻る様子がありました。日頃の宿題も取り組みが悪く，なんども教科の先生から注意を受けている様子があります。

さて，みなさんが担当の教師だったらどのような声がけをしますか？

学習性無力感に陥ってしまう行動と，自己肯定感を高める行動を考えてみましょう。

設問① レポート課題　例

- 「動機づけ」を説明した上で，「学習性無力感」と「自己効力感」を説明してください。またこれらの知識を保育・教育場面でどのように活用していくかについて自分の考えで説明してください。

①「動機づけ」の定義，「動機づけ」の具体例

→「行動を生じさせ，その行動を維持し，何らかの目標に方向付けを行う一連の心理過程」

→以前確認した動機づけの具体的行動を挙げる。（ex 保育士という目標を達成するために勉強し続けるなど）

設問① レポート課題　例

- 「動機づけ」を説明した上で，「学習性無力感」と「自己効力感」を説明してください。またこれらの知識を保育・教育場面でどのように活用していくかについて自分の考えで説明してください。

②「学習性無力感」と「自己効力感」の解説

→まずは定義と人物名を挙げる。その後「学習性無力感」ではパブロフの実験を出したり，「自己効力感」では自己効力感を高める４つの要素を挙げ，説明するなど。

（文字数によっては，詳しい定義と人物名のみでも）

設問① レポート課題　例

- 動機づけ」を説明した上で，「学習性無力感」と「自己効力感」を説明してください。またこれらの知識を保育・教育場面でどのように活用していくかについて自分の考えで説明してください。

③「学習性無力感」と「自己効力感」の知識を保育者としてどのようにいかしていくかについて，自分の考えで説明。

→定義から保育場面でこういった声がけや行動は「学習性無力感」に繋がる，またはこういった行動や声がけが子どもの「自己効力感」を高めることに繋がるなど。

設問① レポート課題　例

- 動機づけ」を説明した上で，「学習性無力感」と「自己効力感」を説明してください。またこれらの知識を保育・教育場面でどのように活用していくかについて自分の考えで説明してください。

④保育場面や教育場面で生かされている「学習性無力感」と「自己効力感」の具体例を提示し，上記（③）で説明した知識の活用について具体例を使用しながら説明。

→学習性無力感に陥ってしまう行動と，意欲を削がない行動（自己効力感を高める行動）の例を参考にしたり，「自己効力感」を高める４つの要素を保育場面で取り入れることを想定する。

設問（２） 試験問題

（２）教育心理学の研究方法について以下の語句を説明してください。

ア.実験法

イ.調査法

＜第I章　教育心理学とは＞
教育心理学の研究方法

データ収集方法

→ 横断研究

→ 縦断研究

→ コホート研究

教育心理学の研究方法①

横断研究とは

「同時にいくつかの異なった集団を研究対象とする方法」

食べる群

食べない群

・食べる群と食べない群
・コレステロールや血糖値を比較
・肥満について関連を調べる

教育心理学の研究方法②

横断研究のメリット

・時間とお金がかからない

・大人数からデータをとることができる

・同時点で他の集団（例えば国籍，年齢など）の比較ができる

・データの分析が簡単

教育心理学の研究方法③

横断研究のデメリット

・因果関係を示すことができず，相関関係にとどまってしまう

（Ex 人の数＝事故の発生数　　ポストの数≠事故の発生数）

・時間経過に伴う参加者の変化や個人差，長期的な傾向がわからない

・条件が大きく異なる集団間（例えば国籍，年齢など）の比較になる

教育心理学の研究方法③

＝

因果関係

≠

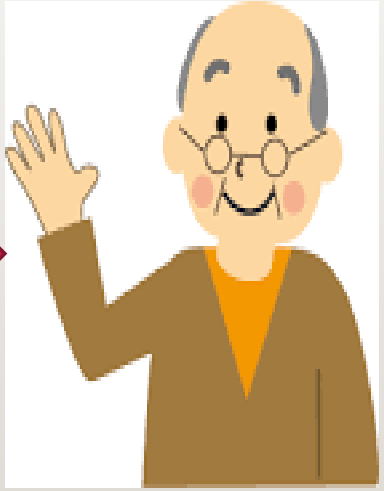
相関関係

教育心理学の研究方法④

縦断研究とは

「同じ対象に時間を隔てて繰り返し実験をする方法」

５０年後



教育心理学の研究方法⑤

縦断研究のメリット

・時間経過に伴う変化を明らかにすることができる

・一連の変化に伴う因果関係を明らかにすることができる

・個別的な発達過程を詳細に知ることができる

教育心理学の研究方法⑥

縦断研究のデメリット

・時間とお金がかかる

・少人数のデータしかとることが難しい

・比較しづらい

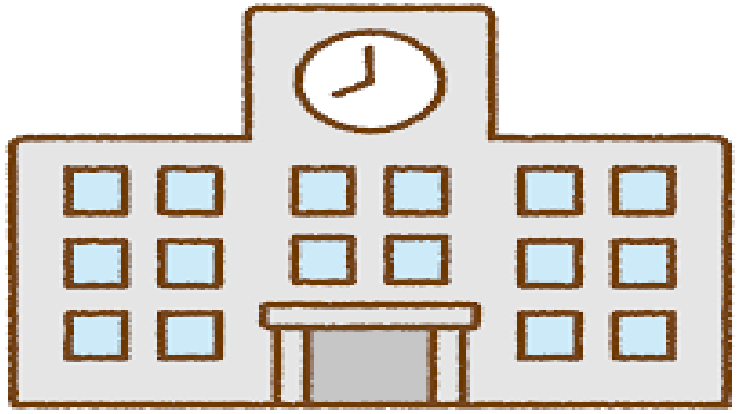
・分析がむずかしい

教育心理学の研究方法①

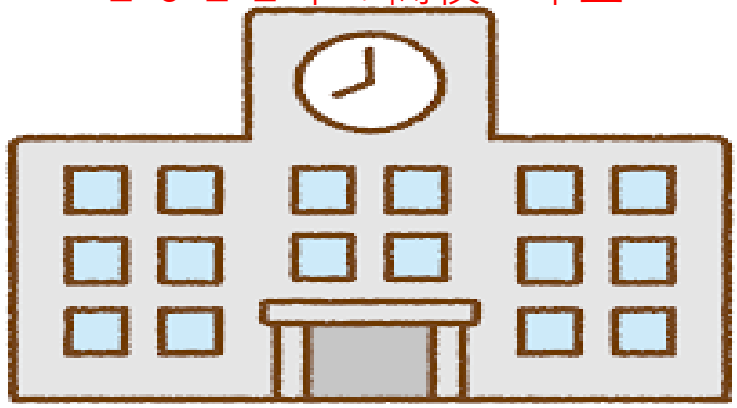
コホート研究とは

「同時期に生まれ育ち，共通した時代背景を経験している集団をコホートと呼び，同一年齢集団の際を用いて時代背景の影響を検討する方法」

１９９０年の高校一年生



２０２２年の高校一年生



研究の実施方法①

研究の実施方法

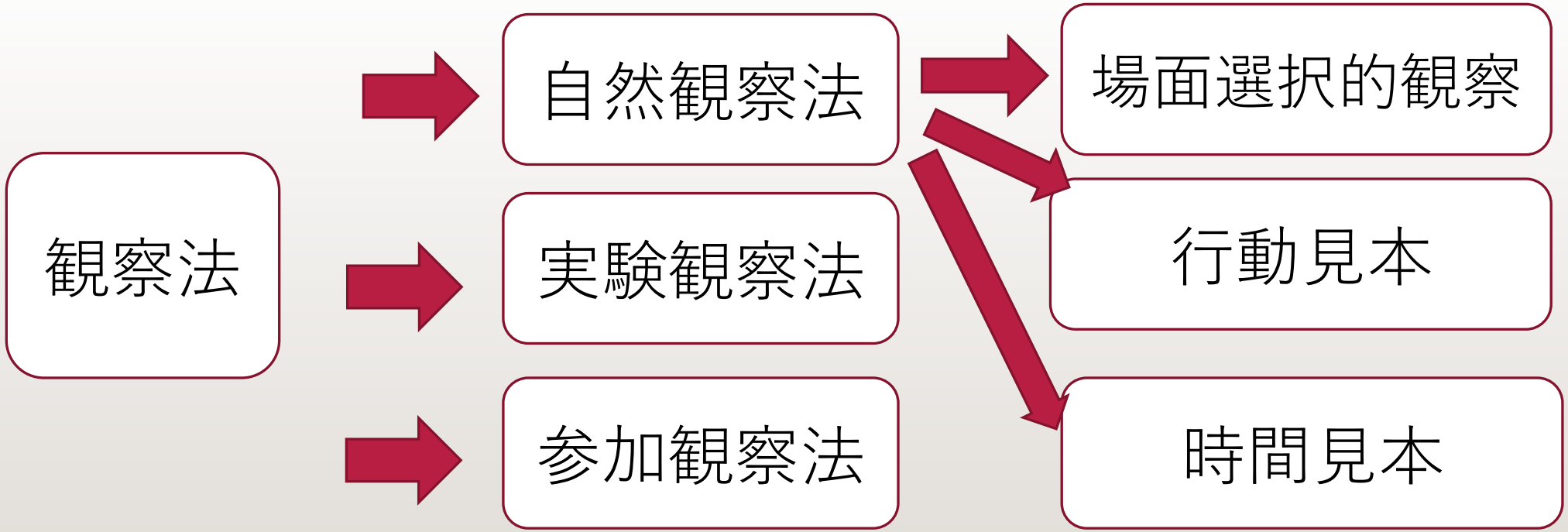
- 観察法
- 実験法
- 調査法
- 面接法

研究の実施方法①

観察法とは

「研究対象に対して，観察・記録・分析を行うことで，データ収集を行う方法」

研究の実施方法②



研究の実施方法②

- 自然観察法の分類

１）場面選択的観察

→特定の場面について観察・記録する。

２）行動見本

→特定の行動に限定して観察・記録する。

３）時間見本

→特定の時間のみに限定して行動を観察・記録する。

研究の実施方法③

実験法とは

「ある一定の条件のもとで，人の心の動きや行動を調べるといった研究方法」

研究の実施方法④

調査法とは

「一般にアンケート・質問紙法と呼ばれる質問項目を回答することによって，データを収集する方法」

5. 以下の項目について、1（全く当てはまらない）から5（とてもよく当てはまる）の数字のなかから、あなた自身に当てはまる数字1つに○をつけてください。

	全く当てはまらない		どちらでもない		とてもよく当てはまる
1. 物事を、まわりの人の影響を受けずに自分一人で決めるのが苦手だ。	1	2	3	4	5
2. まわりの人がそうだといえば、自分もそうだと思えてくる。	1	2	3	4	5
3. 悩んでいる友達がいても、その悩みを分かち合うことができない。	1	2	3	4	5
4. 常に人の立場に立って、相手を理解するようにしている。	1	2	3	4	5
5. 交際することが好きだ。	1	2	3	4	5
6. 他人の成功を素直に喜べないことがある。	1	2	3	4	5
7. まわりに困っている人がいると、その人の問題が早く解決するといいなあと思う。	1	2	3	4	5
8. 自分の意見はまわりの人の影響を受けやすい。	1	2	3	4	5
9. 自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているのかをわかろうとする。	1	2	3	4	5
10. 相手を批判するときは、相手の立場を考えることができない。	1	2	3	4	5

Q1

自分のスマートフォンを持っていますか？

- はい
- いいえ

Q2

スマートフォンから掲示板に書き込んだことがありますか？

- はい
- いいえ

Q3

スマートフォンでどのようなことをしていますか。してみたいですか？

- 電話
- メール
- インターネット
- ゲーム

Q4

電話やインターネットを利用していて嫌な思いや怖い体験をしたことがあったら入力してください。

回答画面

研究の実施方法⑤

調査法実施の注意点

１）質問項目は単純明快で，誰でも同じように理解できる内容にする。

２）回答者に合わせた項目内容にしなければならない。

３）ひとつの質問項目の中に，２つ以上の内容を含めてはいけない。

４）質問項目にある特定の意見などを付け加えてはいけない。

５）質問調査は，回答者の主観的な言語報告であり，回答者の言語的力に依存していることを忘れてはならない。また言語能力に依存しているため，年少児には実施できない。

研究の実施方法⑥

面接法

「研究者が研究対象者と対面し，相互コミュニケーションを通して情報を収集する方法」

教育心理学の研究方法⑦

面接法

- 構造化面接
- 半構造化面接
- 非構造化面接

教育心理学の研究方法⑦

構造化面接

半構造化面接

非構造化面接

低い

高い

回答の自由度

設問（２） 試験問題

（２）教育心理学の研究方法について以下の語句を説明してください。

ア.実験法

→「ある一定の条件のもとで，人の心の動きや行動を調べるといった研究方法」

イ.調査法

→「一般にアンケート・質問紙法と呼ばれる質問項目を回答することによって，データを収集する方法